

2022年度 愛知ゼミ (近現代文学) 紹介

- 担当 者：愛知峰子
- 専門分野：日本近代文学

❖対象領域

卒業研究の対象領域は、以下のとおりです。

- 1) 近現代の文学作品や作家について。
- 2) 近現代の児童文学（絵本も含む）について。
- 3) 文体・表現、流派・思潮、社会・時代等の関連・周辺研究について。

❖演習・ゼミの内容

日本文学演習A・Bは、受講生が、選択したテーマに関する調査・研究を報告するという発表形式で行います。広く文学に関心を持ち、演習を通して、登場人物の心理など深く読み味わうことを目指します。

「日本文学演習A」（3年春学期）

明治文学研究がテーマです。森鷗外、夏目漱石、泉鏡花、島崎藤村などの中から選択した作家と作品について、調査・研究の基礎を学びます。場合によっては絵本研究も行います。ゼミの仲間と楽しく明治文学研究に取り組んでほしいと思っています。

「日本文学演習B」（3年秋学期）

各自関心のある近現代文学の作家・作品を取り上げ、基礎的研究をします。

「卒業研究」（4年）

卒業論文執筆のための研究指導が中心です。

ゼミの仲間と率直に意見交換したり助け合ったりしながら、論文を仕上げていきましょう。

❖卒業論文のテーマ(過去の例)

「林明子の絵本の世界」 「寺村童話の世界」 「『ルドルフとイッパイアッテナ』論」
「宮沢賢治の幻想世界」 「新美南吉童話と故郷」 「あさのあつこの少年少女像」
「尾崎紅葉の挑戦」 「『たけくらべ』の美登利」 「『浮雲』における文三について」
「『高瀬舟』論」 「『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』について」
「島崎藤村の『春』と北村透谷」 「太宰治と『人間失格』」 「武者小路実篤の文学」
「夏目漱石『こころ』論」 「芥川龍之介と芸術」 「江戸川乱歩の怪奇小説の世界」
「よしもとばななの死生観」 「森見登美彦の描く『薔薇色のキャンパスライフ』」ほか

卒業論文は、明治以降の文学（児童文学を含む）について、各自の興味関心によって作家や作品を取り上げ執筆していきます。ほぼ1年にわたって取り組むので、大好きな作家や作品を研究対象に選ぶとよいでしょう。

❖面談

- ① 日時：期間中の火～木曜日の研究室在室時。（事前連絡無しでも可）
場合によってはオンラインによる面談も行います。
- ② 場所：愛知研究室（25号館2階）

❖連絡先

aichi2010@fsc.chubu.ac.jp